



## 先輩の話

6年生の子どもたちにとって小学校生活もあと半年。これから中学校への期待と不安が徐々に大きくなっていくことでしょう。

そんな6年生のために、中学校の先輩が本校を訪れて話をしてくれました。来てくれたのは今年の卒業生（3人）です。

中学校での1日の生活の様子、授業のこと、テスト（年5回）のこと、さらに部活動のことなど紹介をしてくれました。

それに対して、6年生からは次のような質問がでました。

- テストはいつ頃あるのか？
  - 給食はおいしいか、量はどうか？
  - どんな委員会があるのか？
  - 先生からよく叱られるか？
  - いじめはあるか？
- など

3人は、一つ一つの質問にも丁寧に答えてくれました。テストの範囲は小学校と比べて広いので授業の復習が大切であること、生徒会の選挙がありそれに伴って前期と後期で委員会が変わること、給食はおいしいこと（ただし量は多い）など。

また、いじめについては小学校と同様にアンケートがあり、それに記入したり気づいたら先生に相談したりすることも話してくれました。それに付け加えて、友達同士で注意をしたり、声を掛け合ったりすることの大切さも話してくれました。

質問に笑顔で答えてくれた3人、「中学校はとても楽しい」と語ってくれた3人、その姿に6年の子どもたちもきっと安心したことだと思います。

帰る前、「話に来る人はどうやってきまったの？」と尋ねました。すると、「話に行きたいという人がいっぱいいて、私たちはジャンケンで勝ったんです」と胸をはっていました。城東小は素敵な卒業生でいっぱいですね。本当に嬉しくなりました。

これは、小中連携の一つとして本年度から新しく始まったことですが、本当にいい企画だだと思います。来年は、今の6年生が喜んで話に来てくれることでしょう。

